単元プリントをご活用ください！

定着度の確認と復習に授業の幅が広がる

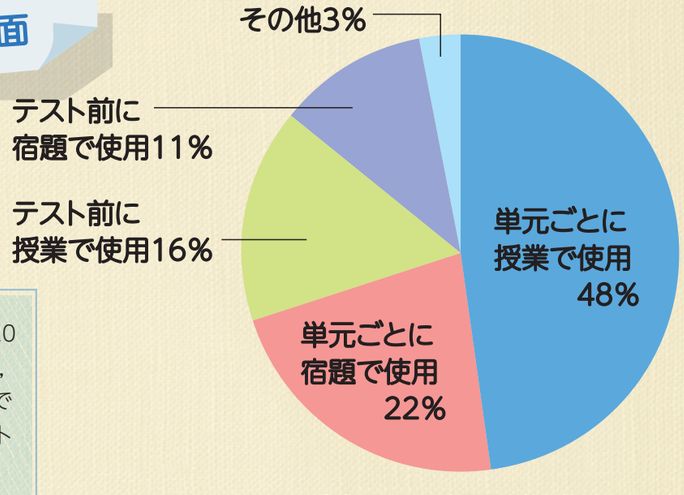
check!
学校教育法第34条第2項にて、有益適切な図書教材（補助教材）の使用が認められています。

理科

Q 単元プリントとはどんな教材？

1単元1枚で基本から発展まで　シンプルで扱いやすい教材です

単元プリントの使用場面



単元プリントは，年間12枚～20枚程度で，教科書の単元ごとに，基本的な問題から発展問題までを1枚のシートに収めたプリント教材です。

2012 年　一般社団法人　全国図書教材協議会の調査による

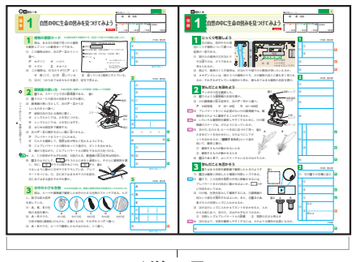
Q 単元プリントを使うメリットは？

① 単元ごとの定着度の確認がしやすい

単元プリントは教科書1単元の基礎から発展までの学習内容を1枚の中で出題。使用時間も1枚20分～40分程度で,観点別に集計できるようになっていますので,学習内容の定着度を簡単に確認することができます。

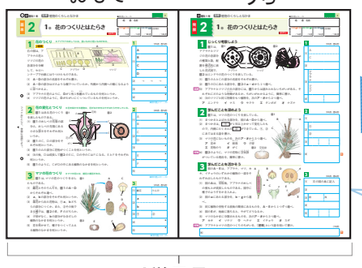
見本と教師用はこのような冊子になっています。

おもて　うら



1単元目

おもて　うら

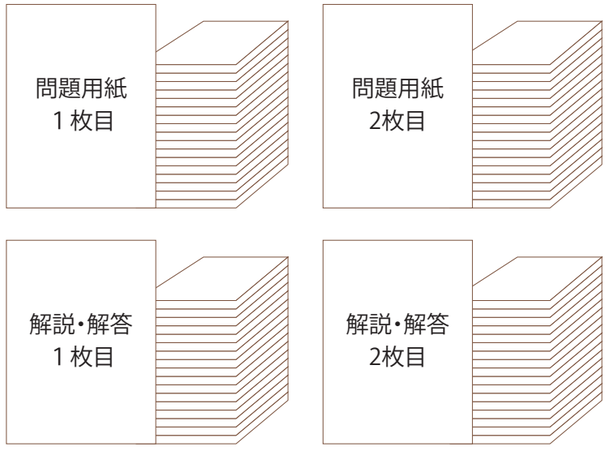


2単元目

生徒用は1単元1枚のプリントです。

② 「授業と並行」・「テスト前にまとめて」など，臨機応変に使える

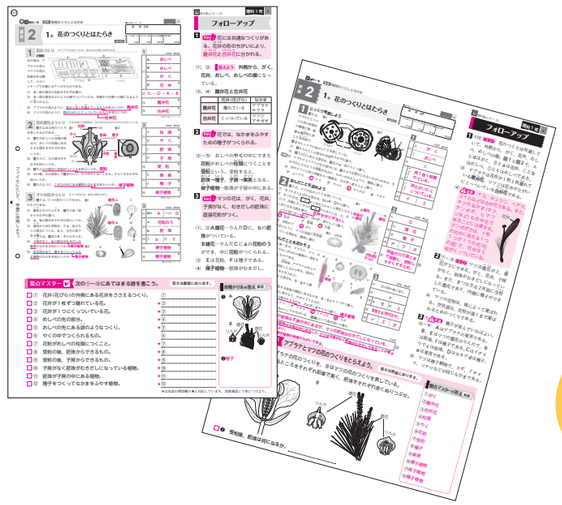
単元プリントは,「1クラス1回分」というまとまりで納品されます。ある回は単元終了時に,ある回はテスト前になど,授業計画にそってどのようにでもお使いいただけます。



学校に保管していただく教材ですので,生徒の自宅保管教材と違って,いつでも必ず全員に同じ学習をさせることができます。

左は一般的な納品方法です。これ以外でも,先生のご要望に応じた納品方法のご相談に応じています。詳しくは教材販売店までお尋ねください。

③ 充実した解説・解答で，実施後の復習が可能



単元プリントには問題1枚に対して1枚の解説・解答のシートがついています。

①問題の縮刷方式で採点がしやすい。
②問題ごとの詳しい解説がついている。
③間違えやすい問題の解説や採点基準も充実。

など,生徒の自己採点・事後学習をしっかりフォローしています。

さらに、こんなメリットも！

④ 標準的な問題内容で生徒の学力レベルや指導内容をチェック！

単元プリントは,学校教材専門の出版社が編集・制作し,全国の学校専門の販売店を通して提供しています。学校の実情に詳しく先生方の身近にいる業者が,学習指導要領や教科書の研究を土台に編集していますので,もれなく・かたよりなく,標準的な問題で学習状況や指導状況の評価をすることができます。

理科 単元プリントをご活用ください！

check!
図書教材の複写複製利用については、著作権法第35条の「ただし書き」において、禁止されています。

⑤ 独自の調査・分析で適切さを確保

単元プリントを発行している出版社の多くが加盟している日本図書教材協会では,検定制度のない教材に対する「学校教材調査会」を設け,大学教授と現職の中学校教諭で構成される調査委員により,加盟出版社の教材の1枚1枚,1問1問の適否を分析してフィードバックし,次回の教材編集に活かす取り組みを行っています。

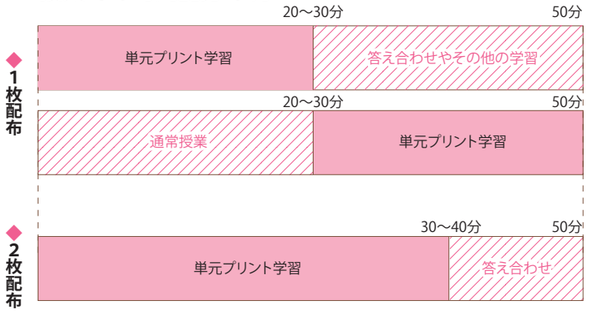
具体的な使い方をもっと知りたい。

Q どんなペースで使えばいい?

①単元終了時に1枚を基本として,授業の進み具合に応じて宿題で使用する。
②テスト前に2枚～3枚まとめて授業または宿題で使用する。
③上記の使用方法に加え,自習時の課題や授業進度の調整用として使用する。

など,先生の授業計画に合わせて柔軟にお使いいただけます。

授業での時間配分の例



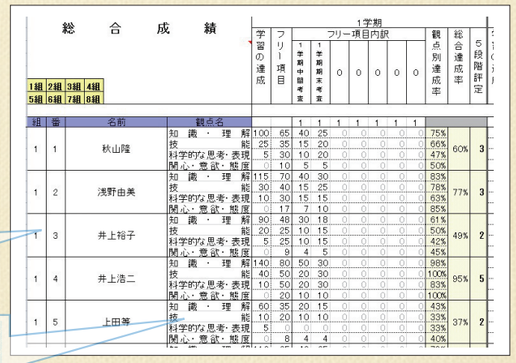
Q 答え合わせは?

①生徒の自己採点
②生徒同士での相互採点
③先生の採点

解説・解答が充実していますので,どのような形でも可能です。

Q 点検や評価は?

①点数を記録し,学期ごとに年間の評価に組み込む。
②提出状況や解答状況を評価に加味する。
③その場で点検し,指導に生かす。



採点・集計しやすい工夫がされています。

観点別の集計ができるように出題しています。

Q 理科単元プリントの実際の使い方を知りたい！

鹿児島県・A先生の使い方

授業・宿題に使っています。授業では、教えた内容の確認に2時間に1回は最後に時間を取って基本問題をさせています。教科書の実験・観察がカラー写真を使って整理された問題で構成されているので授業の終わりに再確認ができて助かっています。発展問題は、宿題にして次の時間に解答・解説を渡して各自で採点させています。間違った問題は、解説をして理解できるようにしています。

青森県・B先生の使い方

単元が終わる毎に宿題として渡して次の時間に解答・解説を渡し、各自で採点させています。わからないところは、質問に来るように指導しています。また、間違えた問題は別のノートに貼らせて定期テスト前に再確認するように指導しています。定期テストには、この教材を参考に出題することによって、ある程度の点数が取れるように作問しているので生徒がやる気を出してくれます。

長野県・C先生の使い方

生徒の苦手にしている単元、1年では「圧力と浮力」、「地層と柱状図」、2年では「電流と磁界」、「天気図」、3年「運動とエネルギー」、「天体」は、授業の1時間を取ってこの教材の問題をやらせ、解答・解説を利用しながら授業しています。特に、この教材の解説のわかりやすい図解や解き方を使ってさらにかみ砕いて説明ができるので、生徒はよりわかりやすいようになっていると感じています。

青森県・D先生の使い方

定期テスト前のふり返りの時間に問題練習をさせるために使います。テスト範囲を単元プリント3～4枚分にあわせています。ふり返りの時間の1時間に1枚配付。1回のテスト範囲で3～4枚=3～4時間はふり返りの時間を取ります。答え合わせは、解答を配付して自己採点。絶対におさえさせたいところや間違えやすいところを解説します。回収・点検はできるだけしています。提出しないとだめという意識づけをさせるためです。

島根県・E先生の使い方

教科書の実験・観察の整理に使っています。実験・観察後にレポートを書かせるときにこの教材を渡し、問題を解かせるとともに行った実験・観察を思い出しながらレポートをまとめさせています。このようにすることによって、より実験・観察が理解でき、学習のポイントが理解できるようになったと思います。生徒によっては、この教材のカラー写真や図を貼ってまとめたレポートもあります。本当によい教材で助かっています。

単元プリントその他の教材についてお知りになりたいことがありましたら、教材販売店までお気軽にお問い合わせください！

一般社団法人 日本図書教材協会　一般社団法人 全国図書教材協議会